

「文化芸術」についてのアンケート結果

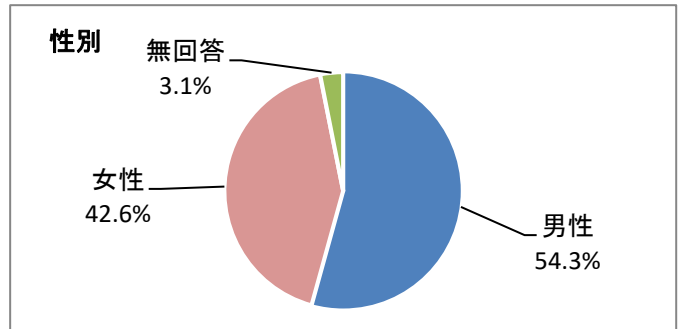
本県では、令和3年3月に滋賀県文化振興基本方針(第3次)を策定し、「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」を基本目標として、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりなどに取り組んでいます。こうした取組をより効果的に進めるため、県民の皆さんの文化芸術に関する意識や行動の把握を目的として、アンケートを実施しました。

- ★調査時期：令和3年6月
- ★対象者：県政モニター298人
- ★回答数：256人(回収率85.9%)
- ★担当課：文化スポーツ部文化芸術振興課
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

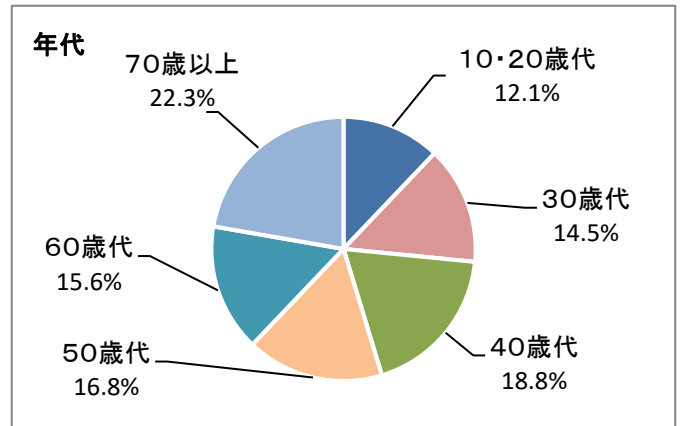
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	139	54.3
女性	109	42.6
無回答	8	3.1
合計	256	100.0



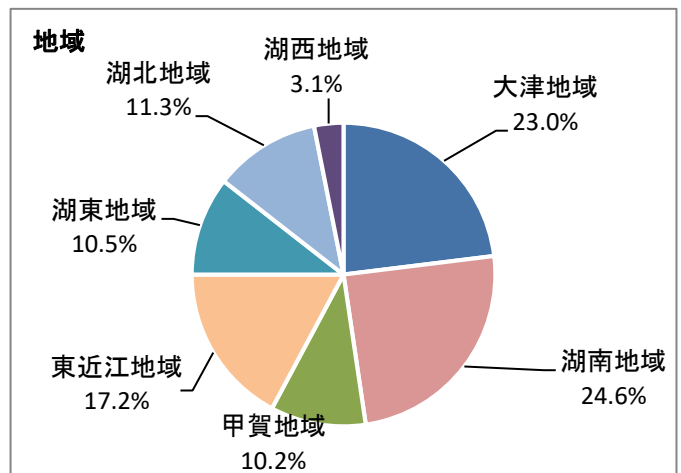
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	31	12.1
30歳代	37	14.5
40歳代	48	18.8
50歳代	43	16.8
60歳代	40	15.6
70歳以上	57	22.3
合計	256	100.0



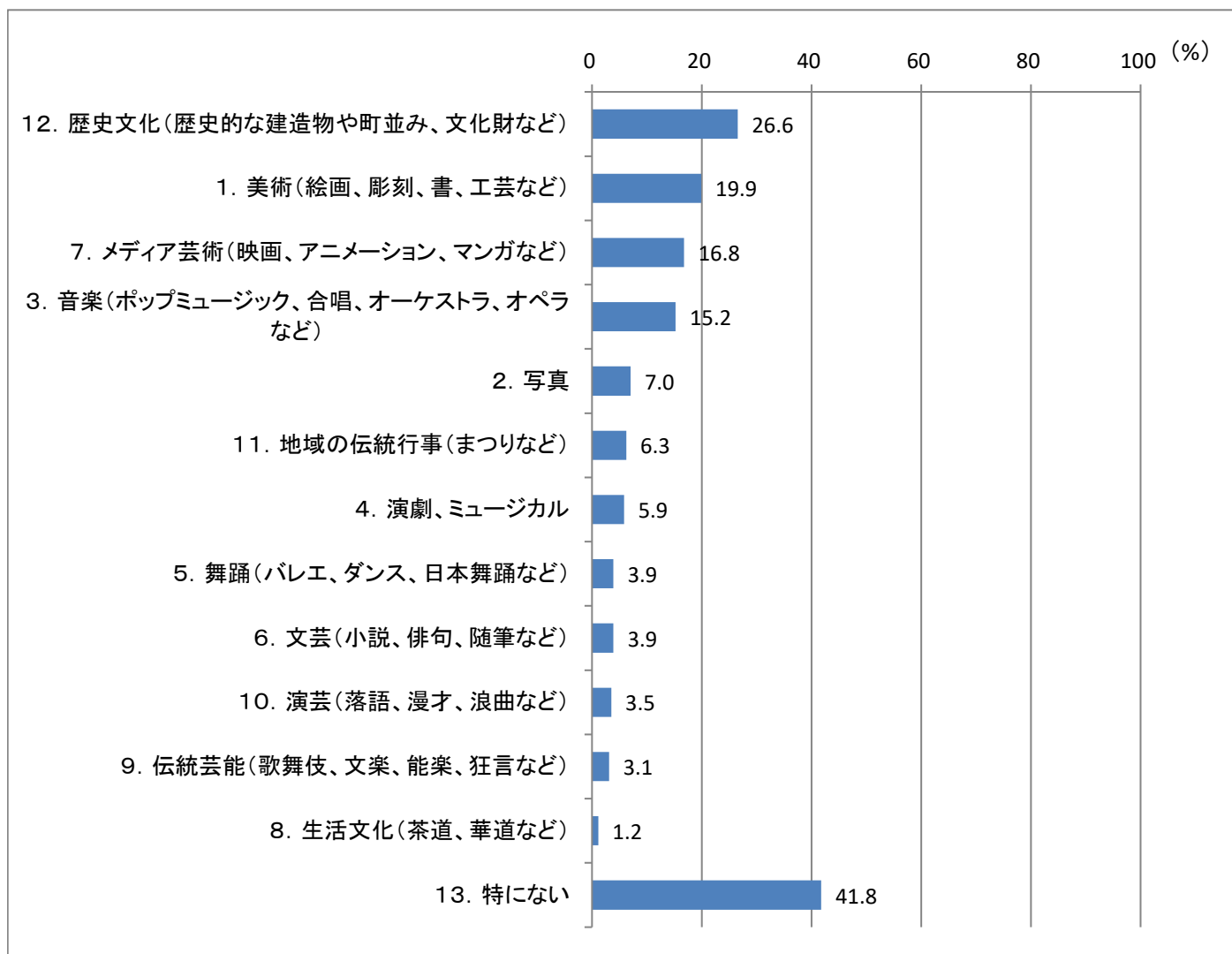
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	59	23.0
湖南地域	63	24.6
甲賀地域	26	10.2
東近江地域	44	17.2
湖東地域	27	10.5
湖北地域	29	11.3
湖西地域	8	3.1
合計	256	100.0



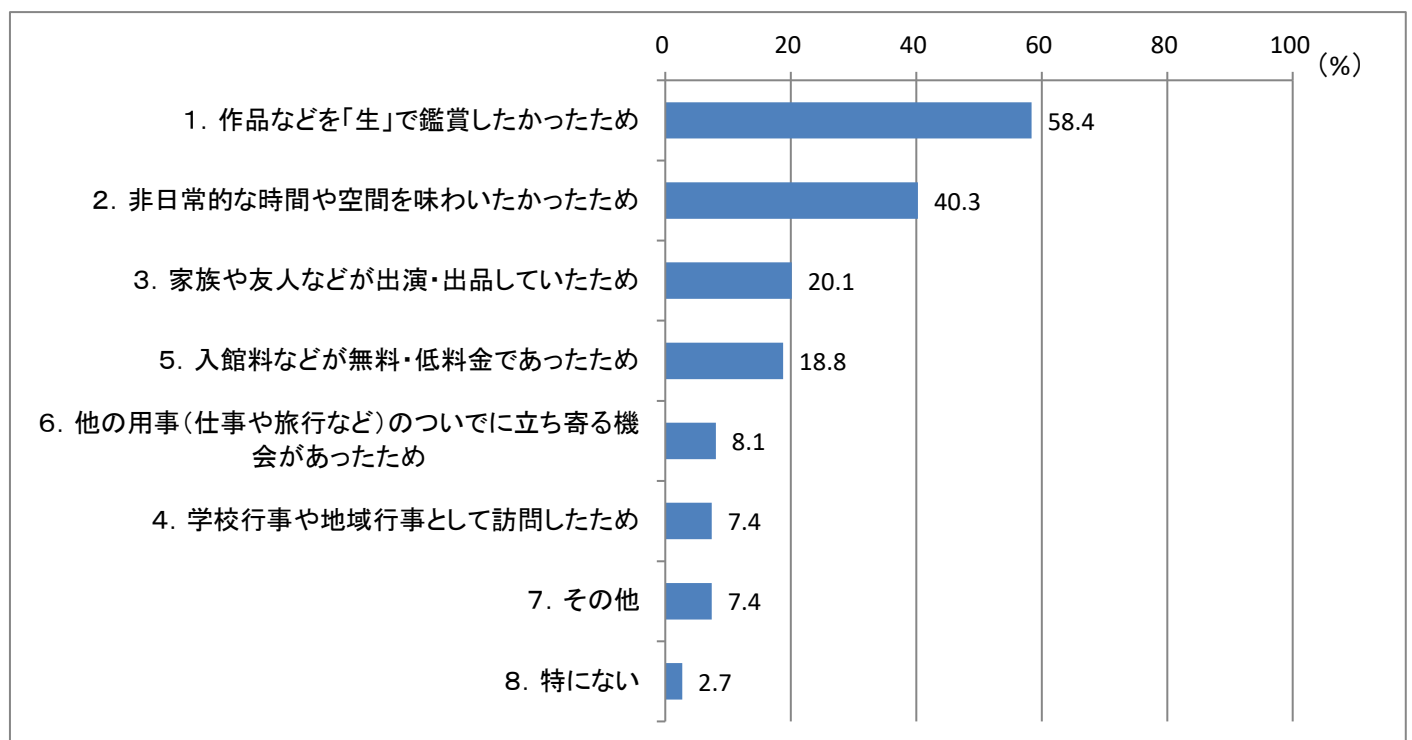
問1 過去1年間に、あなたが文化施設(美術館、文化ホール、映画館等)や会場等に出向いて鑑賞したものは何ですか。(「13. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸など)	51	19.9
2. 写真	18	7.0
3. 音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	39	15.2
4. 演劇、ミュージカル	15	5.9
5. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	10	3.9
6. 文芸(小説、俳句、随筆など)	10	3.9
7. メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	43	16.8
8. 生活文化(茶道、華道など)	3	1.2
9. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)	8	3.1
10. 演芸(落語、漫才、浪曲など)	9	3.5
11. 地域の伝統行事(まつりなど)	16	6.3
12. 歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	68	26.6
13. 特にない	107	41.8



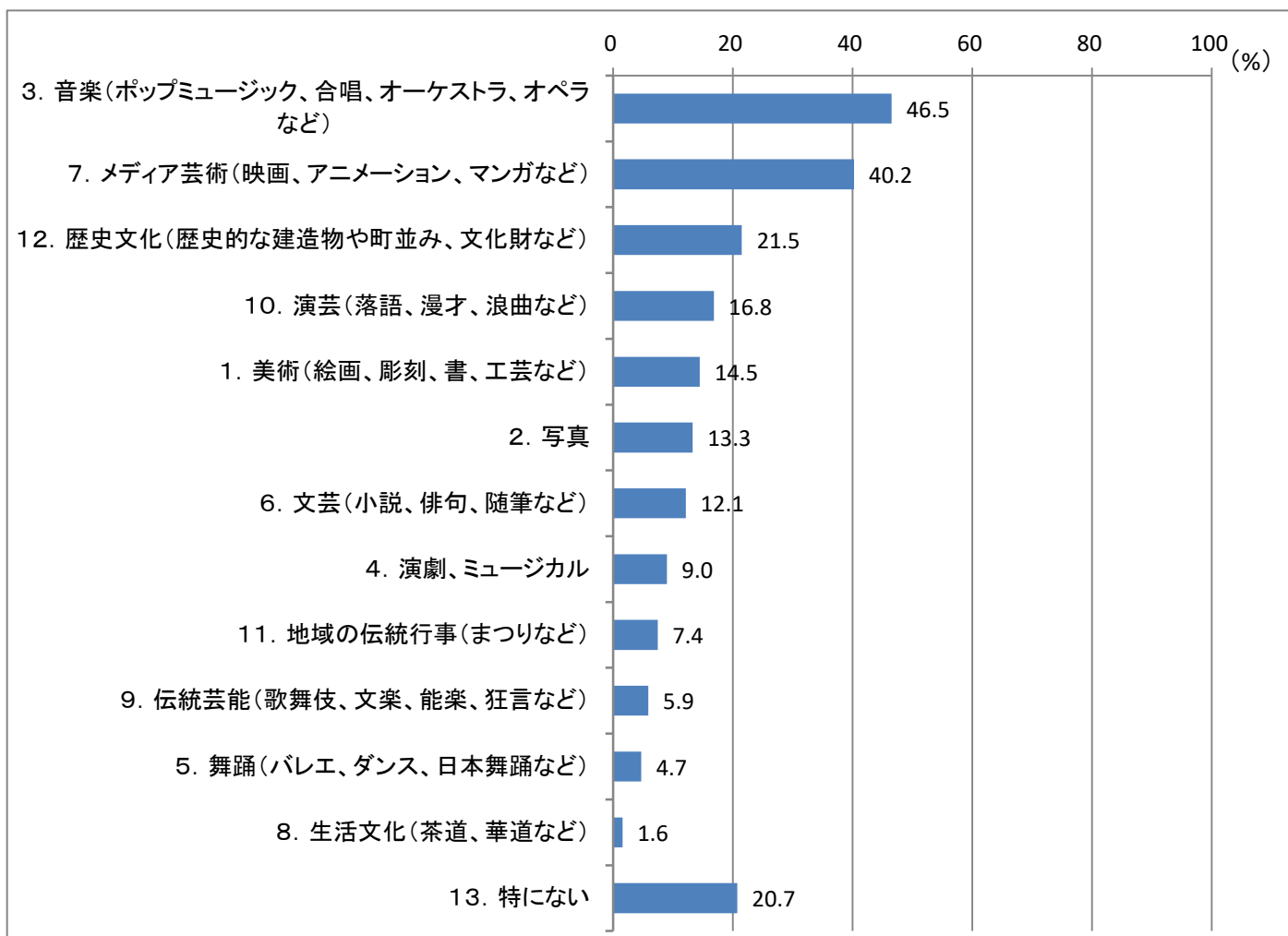
問2 問1で「1」～「12」を選択した方におたずねします。文化施設や会場等に出向いて鑑賞した理由は何ですか。(「8. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=149)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 作品などを「生」で鑑賞したかったため	87	58.4
2. 非日常的な時間や空間を味わいたかったため	60	40.3
3. 家族や友人などが出演・出品していたため	30	20.1
4. 学校行事や地域行事として訪問したため	11	7.4
5. 入館料などが無料・低料金であったため	28	18.8
6. 他の用事(仕事や旅行など)のついでに立ち寄る機会があったため	12	8.1
7. その他	11	7.4
8. 特にない	4	2.7



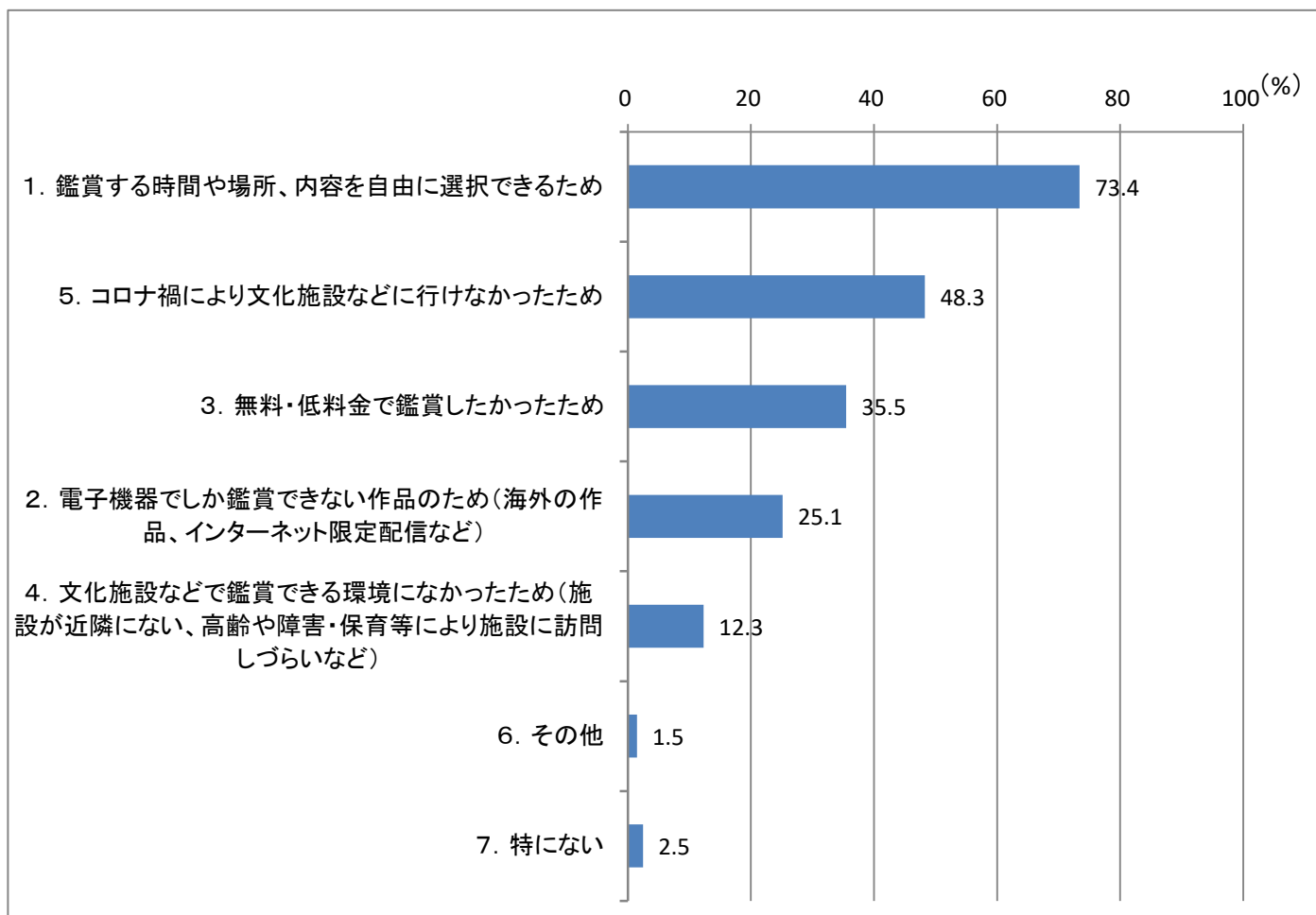
問3 過去1年間に、あなたが興味を持って電子機器(テレビ、ラジオ、パソコン、スマートフォン等)で鑑賞したものは何ですか。(「13. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸など)	37	14.5
2. 写真	34	13.3
3. 音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	119	46.5
4. 演劇、ミュージカル	23	9.0
5. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	12	4.7
6. 文芸(小説、俳句、随筆など)	31	12.1
7. メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	103	40.2
8. 生活文化(茶道、華道など)	4	1.6
9. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)	15	5.9
10. 演芸(落語、漫才、浪曲など)	43	16.8
11. 地域の伝統行事(まつりなど)	19	7.4
12. 歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	55	21.5
13. 特にない	53	20.7



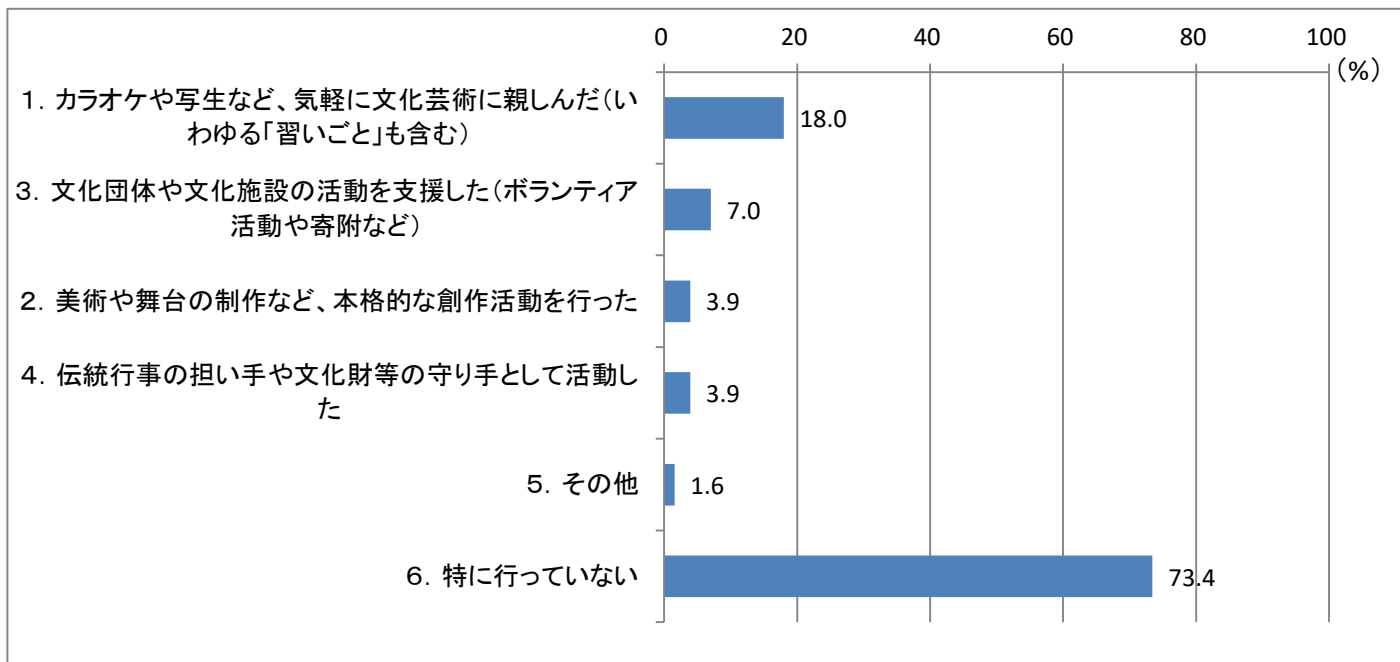
問4 問3で「1」～「12」を選択された方におたずねします。電子機器で鑑賞した理由は何ですか。(「7. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=203)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 鑑賞する時間や場所、内容を自由に選択できるため	149	73.4
2. 電子機器でしか鑑賞できない作品のため(海外の作品、インターネット限定配信など)	51	25.1
3. 無料・低料金で鑑賞したかったため	72	35.5
4. 文化施設などで鑑賞できる環境になかったため(施設が近隣にない、高齢や障害・保育等により施設に訪問しづらいなど)	25	12.3
5. コロナ禍により文化施設などに行けなかったため	98	48.3
6. その他	3	1.5
7. 特にない	5	2.5



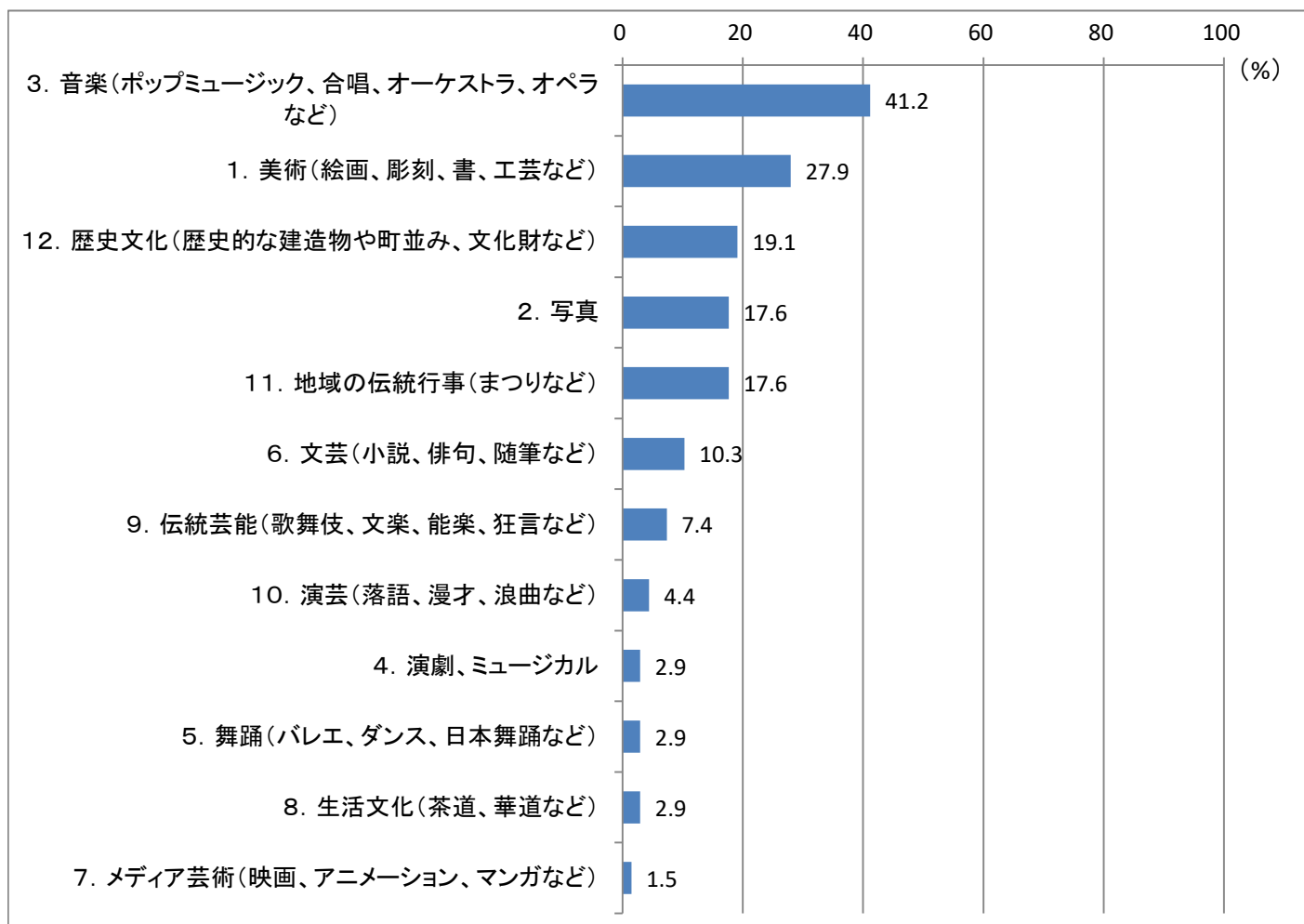
問5 過去1年間に、あなたは文化芸術活動を行いましたか。ただし、「鑑賞」のみの場合は除きます。(「6. 特に行っていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. カラオケや写生など、気軽に文化芸術に親しんだ(いわゆる「習いごと」も含む)	46	18.0
2. 美術や舞台の制作など、本格的な創作活動を行った	10	3.9
3. 文化団体や文化施設の活動を支援した(ボランティア活動や寄附など)	18	7.0
4. 伝統行事の担い手や文化財等の守り手として活動した	10	3.9
5. その他	4	1.6
6. 特に行っていない	188	73.4



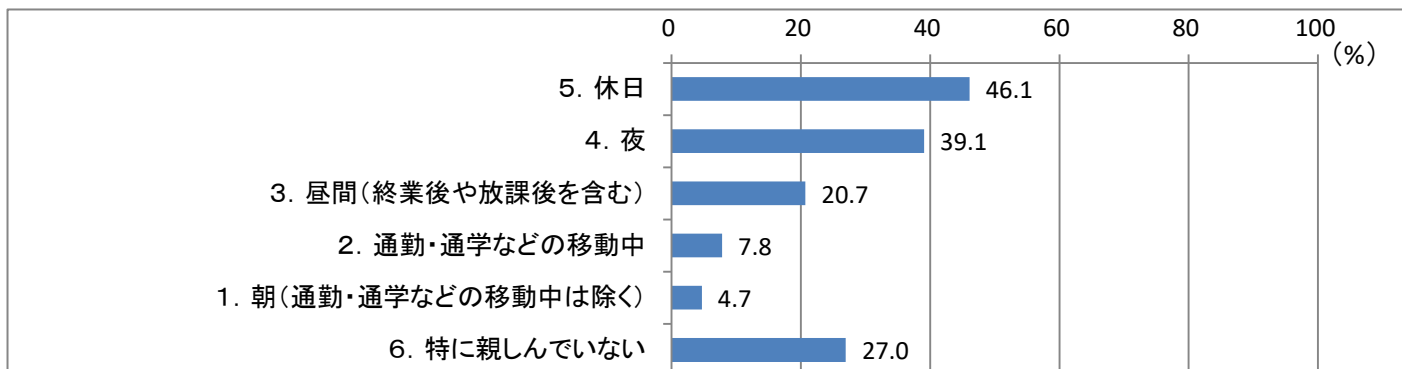
問6 問5で「1」～「5」を選択された方におたずねします。活動を行ったのはどのジャンルですか。(回答チェックはいくつでも。n=68)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸など)	19	27.9
2. 写真	12	17.6
3. 音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	28	41.2
4. 演劇、ミュージカル	2	2.9
5. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	2	2.9
6. 文芸(小説、俳句、随筆など)	7	10.3
7. メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	1	1.5
8. 生活文化(茶道、華道など)	2	2.9
9. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)	5	7.4
10. 演芸(落語、漫才、浪曲など)	3	4.4
11. 地域の伝統行事(まつりなど)	12	17.6
12. 歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	13	19.1



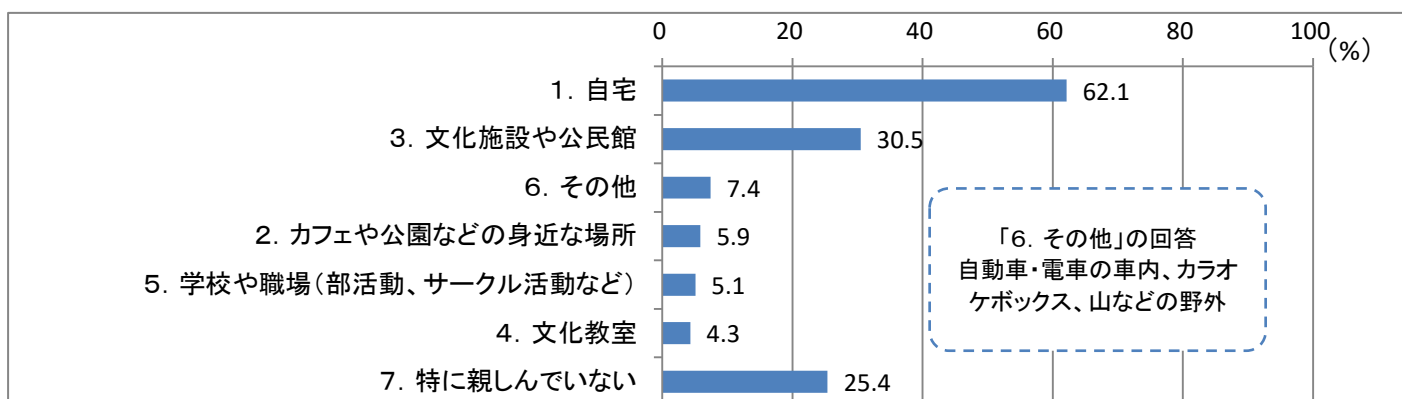
問7 あなたは、主にどのような時間帯に文化芸術に親しんでいますか。(「6. 特に親しんでいない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 朝(通勤・通学などの移動中は除く)	12	4.7
2. 通勤・通学などの移動中	20	7.8
3. 昼間(終業後や放課後を含む)	53	20.7
4. 夜	100	39.1
5. 休日	118	46.1
6. 特に親しんでいない	69	27.0



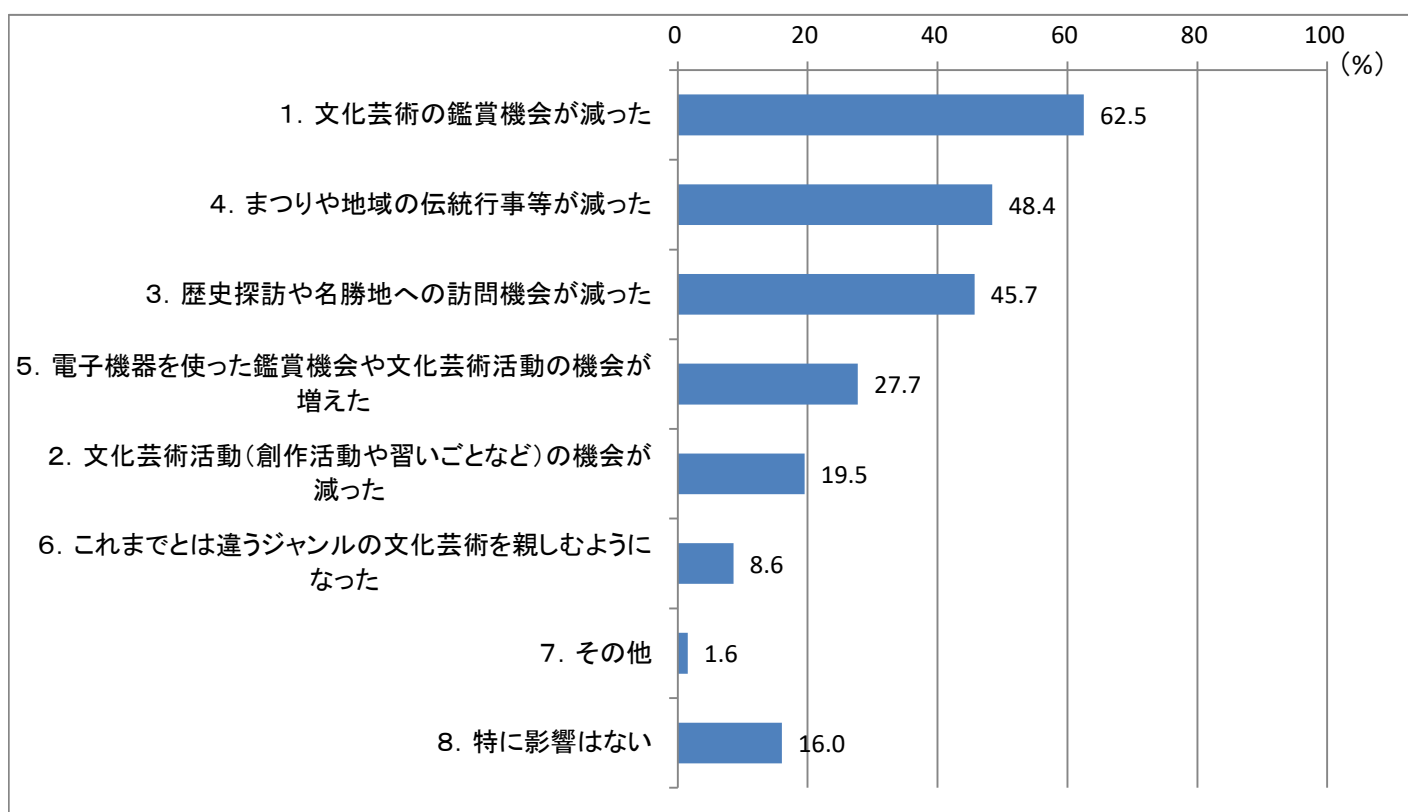
問8 あなたは、主にどのような場所で文化芸術に親しんでいますか。(「7. 特に親しんでいない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅	159	62.1
2. カフェや公園などの身近な場所	15	5.9
3. 文化施設や公民館	78	30.5
4. 文化教室	11	4.3
5. 学校や職場(部活動、サークル活動など)	13	5.1
6. その他	19	7.4
7. 特に親しんでいない	65	25.4



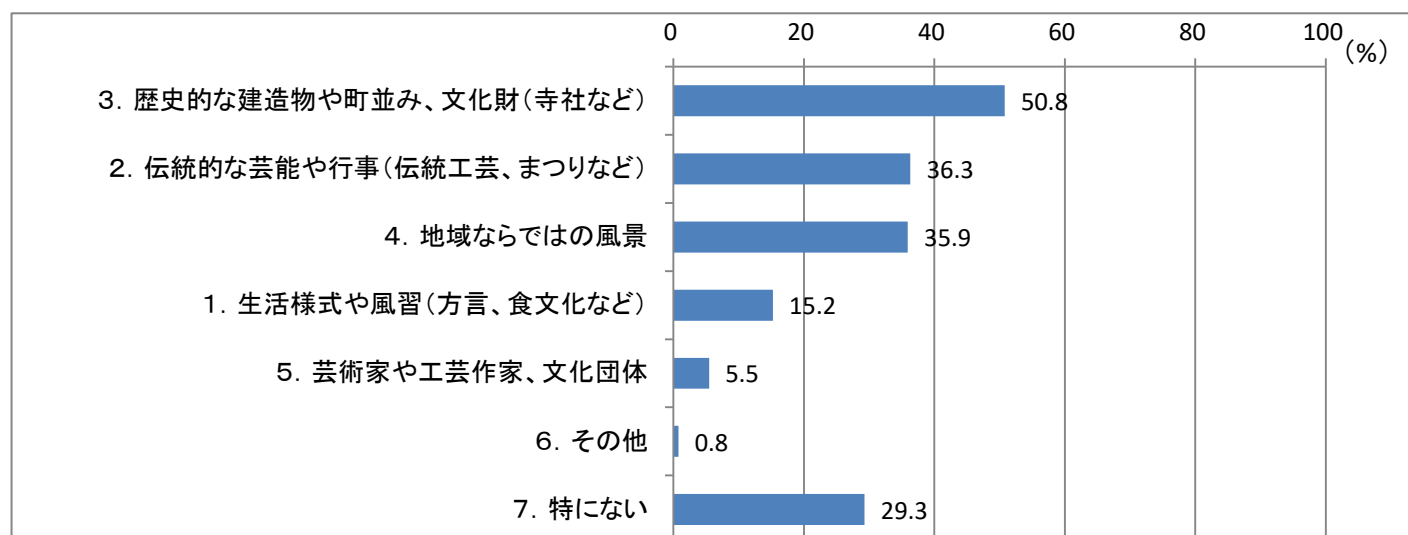
問9 コロナ禍によって、文化芸術に親しむ機会にどのような変化がありましたか。(「8. 特に影響はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 文化芸術の鑑賞機会が減った	160	62.5
2. 文化芸術活動(創作活動や習いごとなど)の機会が減った	50	19.5
3. 歴史探訪や名勝地への訪問機会が減った	117	45.7
4. まつりや地域の伝統行事等が減った	124	48.4
5. 電子機器を使った鑑賞機会や文化芸術活動の機会が増えた	71	27.7
6. これまでとは違うジャンルの文化芸術を親しむようになった	22	8.6
7. その他	4	1.6
8. 特に影響はない	41	16.0



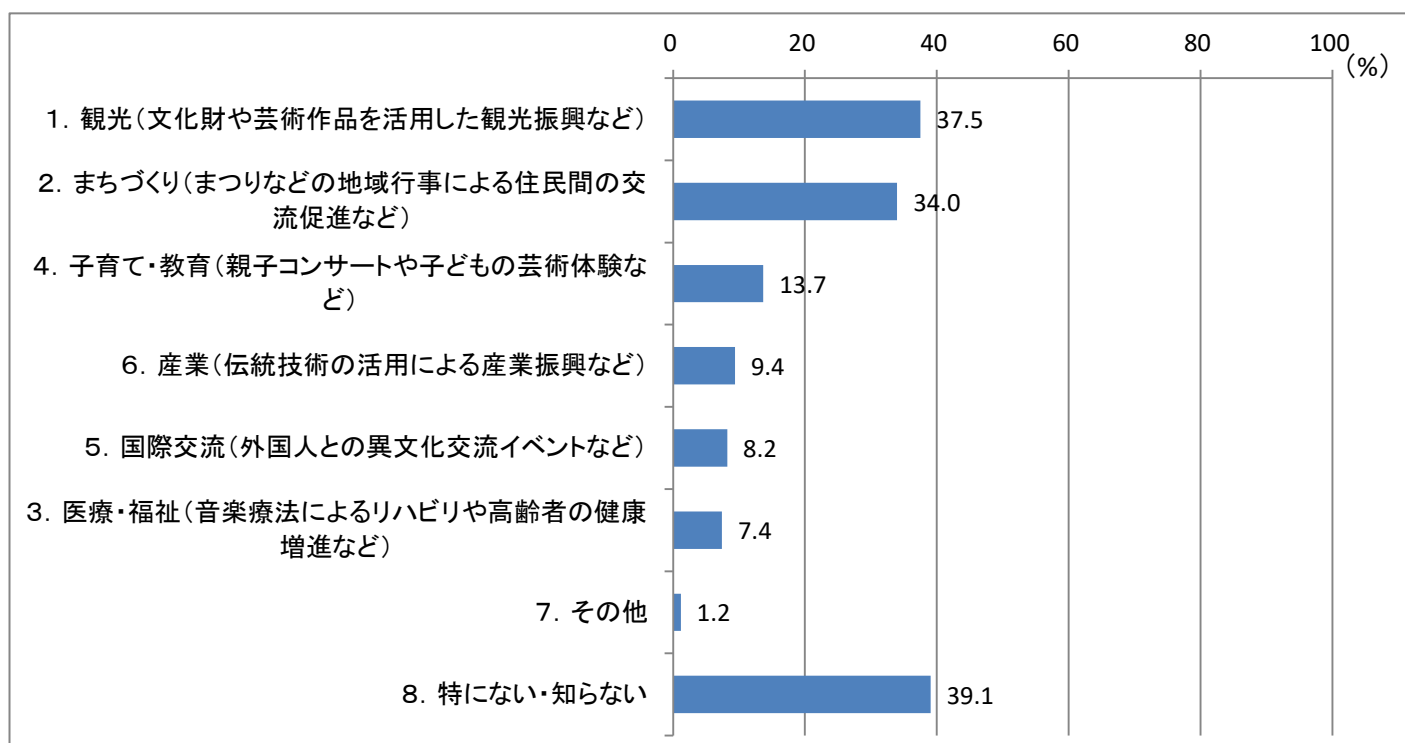
問10 お住まいの地域には、あなたが魅力や誇りを感じる文化芸術資源がありますか。(「7. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 生活様式や風習(方言、食文化など)	39	15.2
2. 伝統的な芸能や行事(伝統工芸、まつりなど)	93	36.3
3. 歴史的な建造物や町並み、文化財(寺社など)	130	50.8
4. 地域ならではの風景	92	35.9
5. 芸術家や工芸作家、文化団体	14	5.5
6. その他	2	0.8
7. 特にない	75	29.3



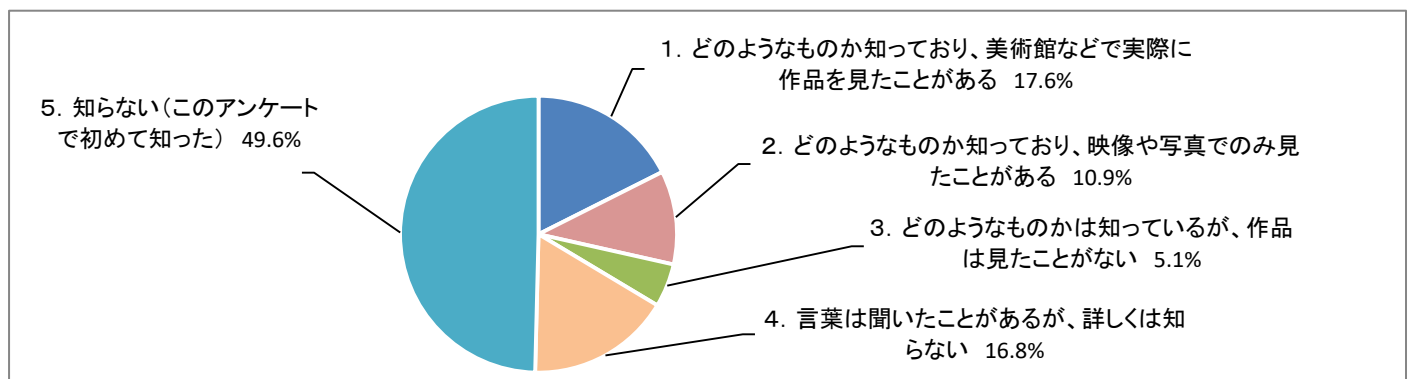
問11 近年、文化芸術の持つ様々な力(例:感動、安らぎ、共感等を生み出す力)を観光や福祉等の他分野に活用する取組が広がっています。あなたの身の回りで、文化芸術の持つ力が活用されている分野はありますか。(「8. 特にない・知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 観光(文化財や芸術作品を活用した観光振興など)	96	37.5
2. まちづくり(まつりなどの地域行事による住民間の交流促進など)	87	34.0
3. 医療・福祉(音楽療法によるリハビリや高齢者の健康増進など)	19	7.4
4. 子育て・教育(親子コンサートや子どもの芸術体験など)	35	13.7
5. 国際交流(外国人との異文化交流イベントなど)	21	8.2
6. 産業(伝統技術の活用による産業振興など)	24	9.4
7. その他	3	1.2
8. 特にない・知らない	100	39.1



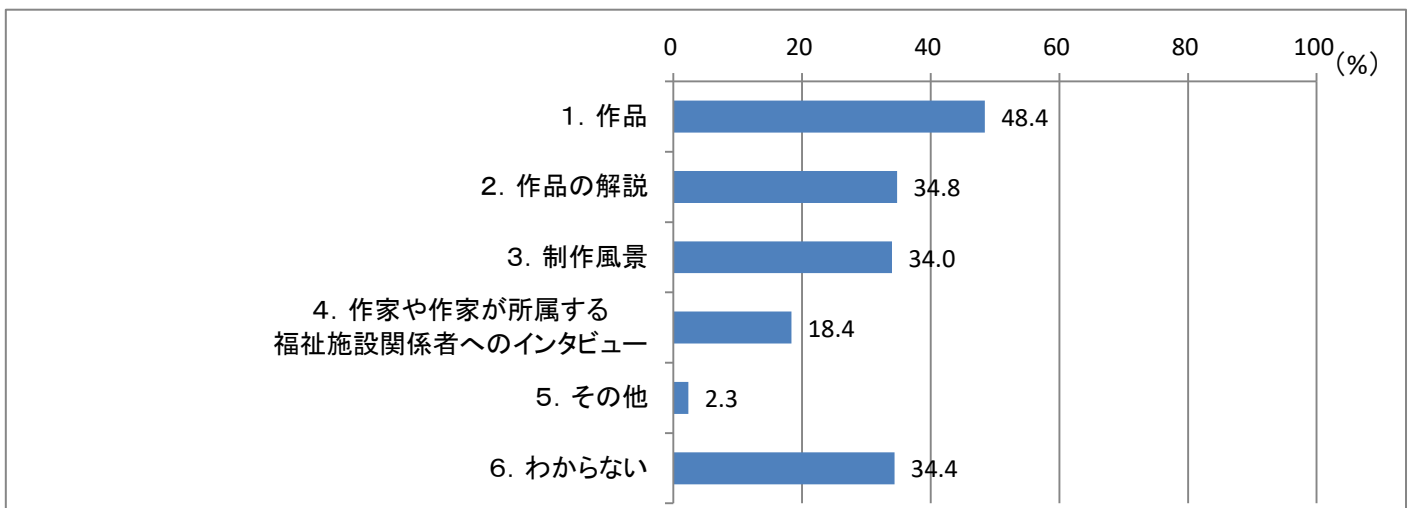
問12 問12 あなたは、「アール・ブリュット」という言葉の意味を知っていますか。また、作品を見たことがありますか。(回答チェックは1つだけ。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. どのようなものか知っており、美術館などで実際に作品を見たことがある	45	17.6
2. どのようなものか知っており、映像や写真でのみ見たことがある	28	10.9
3. どのようなものか知っているが、作品は見たことがない	13	5.1
4. 言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない	43	16.8
5. 知らない(このアンケートで初めて知った)	127	49.6
合計	256	100.0



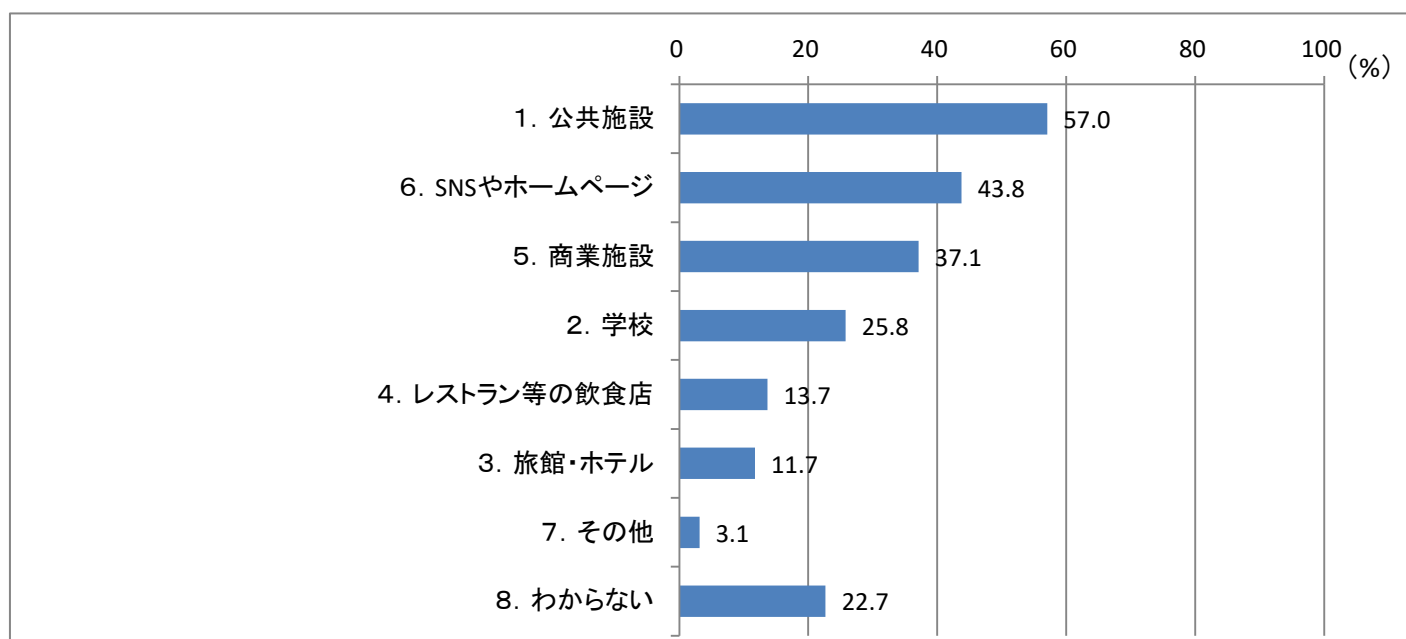
問13 県では、アール・ブリュット作品の魅力を発信していくための映像の作成を予定しています。作品に関してどのような映像を見てみたいですか。(「6. わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 作品	124	48.4
2. 作品の解説	89	34.8
3. 制作風景	87	34.0
4. 作家や作家が所属する福祉施設関係者へのインタビュー	47	18.4
5. その他	6	2.3
6. わからない	88	34.4



問14 今後、アール・ブリュット作品の魅力を映像で発信していく際に、どのような施設で展示すると効果的だと思われますか。(「8. わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 公共施設	146	57.0
2. 学校	66	25.8
3. 旅館・ホテル	30	11.7
4. レストラン等の飲食店	35	13.7
5. 商業施設	95	37.1
6. SNSやホームページ	112	43.8
7. その他	8	3.1
8. わからない	58	22.7



問15 その他、滋賀県の文化芸術の振興に向けて、御意見などがありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・文化芸術の重要性は感じているが、素養がなく楽しみ方がわからず、生活において後回しになっている。楽しみ方を教わる機会がたくさんあるとありがたいと思う。
- ・コロナ禍で地域の伝統的な祭りがことごとく中止されている。このまま廃れてしまわないよう、地域の力や行政の力を使って守って欲しい。
- ・低料金でだれもが楽しめる文化芸術であってほしい。
- ・仕事中心の生活だからかもしれないが、県内や身近な場所にこういった文化芸術があるかという情報がほとんど入ってこないように思う。各世帯への情報発信のみならず、各職域への情報発信を充実してもらえると良い。
- ・これまで他府県に住んでいた経験から、滋賀県は歴史遺産が比較的多いと感じる。こうした魅力を県内外へ発信する取組があれば、自身も参加してみたい。
- ・湖北では、地理的に文化芸術に触れる機会が乏しい。さらに、地元の文化施設はいつも閑散としているので、作品や催し、ワークショップなどを湖北でも開催してほしい。
- ・滋賀県は若手作家が作品を発表できる小規模なギャラリーが少なく、どうしても他県へ出て行かなければならない。空き家や廃校を利用して若手作家のアトリエとして利用できるように整備するなど、作品を地元で披露できる機会や場所があればと思う。
- ・滋賀県は芸術的な文化がたくさんあるので、もっと気軽に触れられるよう、ネット美術館等を充実させてほしい。
- ・公共施設(美術館、博物館など)での展示のほかに、町の喫茶店や展示スペースを有効活用してほしい。そのために、地元の芸術家や「ものづくり」をしておられる方々、サークルで人形劇や読み聞かせ、お話し会などの活動をされている方々に対し、助成制度があればよいと思う。地道に継続して活動されている方への支援をお願いしたい。
- ・コロナ禍のため、劇場や美術館、博物館へ足を運ばなくても、自宅で気軽に鑑賞できる映像等を、有料でもいいので配信してほしい。生の芸術に触れることが一番望ましいことではあるが、移動が困難な高齢者や障害者にとっても、触れる機会を選択できるようにしてほしい。
- ・歴史を学べるような建物等は、その特徴上仕方がないのかもしれないが、バリアフリーでない場所が多く行きづらい。パンフレットやホームページなどで、各施設がどの程度バリアフリーに対応しているのかがわかると、訪問先を安心して選びやすい。
- ・これからの時代を担う子どもたちに、文化芸術に対する感受性をもっと高めてもらえるような活動や施策に取り組んでほしい。
- ・県立美術館のほかにも、市町には色々な博物館等があり、様々な企画を工夫して実施されている。展示されているものも重要文化財など素晴らしいものがあり、県としてうまく周知・PRしてほしい。
- ・自宅時間が増え書籍に接する機会も増加しているのので、図書館や本と触れ合える機会がもっと増えると良い。また、街中に芸術的な音楽やクラシック、jazzが流れているといい。
- ・文化芸術関係の仕事をしている方は、コロナ禍で大変苦しい思いをされていると思う。仕事や活躍の場が増えるよう、行政が支援することが重要。
- ・大型の文化施設における地域差は解消できないと思うので、それをカバーする方法として、市町の公共施設で同時に映像配信等を行い、広く共有できる機会を作ってほしい。
- ・近所にびわ湖ホールがあり、時々コンサート等を鑑賞している。稼働率をもっと高めるため、演奏会やミュージカル以外にも、映画やスポーツイベントのパブリックビューイングや講演会、展示会やバザーなど、もっと多種多様な催しに活用できれば良いと思う。